

作成日 2024年 4月 5日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	フェニルカルボノクロリダート Phenyl carbonochloridate
製品名	クロロギ酸フェニル
製品コード	F-018181
SDS整理番号	ZC24097-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	医薬中間体

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	該当区分なし 引火性液体 区分4 金属腐食性化学品 区分1
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分4 急性毒性(吸入) 区分1 皮膚腐食性/刺激性 区分1B 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1
環境に対する有害性	該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H227 可燃性液体
H290 金属腐食のおそれ
H302 飲み込むと有害
H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H318 重篤な眼の損傷
H330 吸入すると生命に危険

注意書き

【安全対策】

P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P234 他の容器に移し替えないこと。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P284 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

P370+P378 火災の場合: 消火するために粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂を使用すること。
P390 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

- P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P310 ただちに医師に連絡すること。
- P303+P361+P353 皮膚または髪に付着した場合: ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
- P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 【保管】
- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P405 施錠して保管すること。
- P406 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
- 【廃棄】
- P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別
化学名または一般名

慣用名または別名

CAS番号

分子式 (分子量)

構造式または示性式

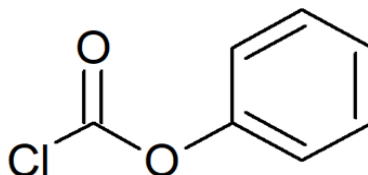
成分および濃度または濃度範囲
官報公示整理番号

化審法: (3)-629
安衛法: 公表化学物質

単一物質

フェニルカルボノクロリダート
Phenyl carbonochloridate

クロロギ酸フェニル
クロロ炭酸フェニル
クロロ炭酸フェニルエステル
フェノキシギ酸クロリド
フェノキシホルミルクロリド
Chlorocarbonate phenyl ester
Phenoxyformic acid chloride
Phenoxyformyl chloride
Phenyl chlorocarbonate
Phenyl chloroformate
1885-14-9
C7H5ClO2 (156.570)



98%以上(GC)

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。

皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合には、医師の診察/手当てを受けること。

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

適切な保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生するおそれがあるので注意すること。

関係者以外は安全な場所に退去させること。

消火作業は風上の安全な地点から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。

周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。

消火活動を行う者の特別な保護具および予 消防作業の際は、必ず保護具を着用すること。
防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	個人用保護具を着用すること。 漏出場所の風上から作業を行い、風下の人を退避させること。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。
環境に対する注意事項 封じ込めおよび浄化の方法および機材	製品が排水路に排出されないよう注意すること。 粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収すること。 付着物、回収物などは関係法規に基づき速やかに処分すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い		
	技術的対策	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 適切な保護具を着用すること。 粉塵が飛散しないよう注意すること。
	安全取扱注意事項	粉塵やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いること。 皮膚、眼および衣類との接触を避けること。 取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをする。
保管		
	安全な保管条件	容器を密閉し、冷暗所にて保管すること。 施錠して保管すること。
	安全な容器包装材料	酸化剤などの混触危険物質から離して保管すること。 法令の定めるところに従うこと。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度 設備対策		設定されていない。 この物質を取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚および身体の保護具	防毒マスク、簡易防毒マスク等。 保護手袋 保護眼鏡。状況に応じ保護面。 保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的および化学的性質

物理状態	液体
形状	透明
色	無色 ~ 淡黄色
臭い	特徴的な臭い
臭いの閾値	データなし
融点/凝固点	-28℃
沸点または初留点および沸点範囲	188℃
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	69℃
自然発火点	540℃
分解温度	データなし
pH	データなし
粘性率	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	
[水]	データなし
[その他の溶剤]	
可溶:	エーテル、ベンゼン、クロロホルム
n-オクタノール/水分分配係数(log値)	1.35
蒸気圧	90Pa(20℃)
密度および/または相対密度(g/ml)	1.244(20℃)
相対ガス密度	5.4(20℃)
粒子特性	データなし

10. 安定性および反応性

反応性	温気、水蒸気または水と接触する場合、激しく反応して、塩化水素(気体)ないしは塩酸蒸気(白色の霧)およびフェノールが生じる。 69℃以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。
-----	--

化学的安定性	水、加熱で分解する。
危険有害反応可能性	酸、アルコール、アミン、塩基、酸化剤、金属と激しく反応する。
避けるべき条件	加熱
混触危険物質	水、酸、アルコール、アミン、塩基、酸化剤、金属
危険有害な分解生成物	塩化水素、フェノール

11. 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入	(ラット)LD50値: 1734mg/kg (ウサギ)LD50値: 4883mg/kg (ラット)44ppm、4時間ばく露で、死亡率は3/6との報告あり。
皮膚腐食性/刺激性		データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		データなし
呼吸器感作性		データなし
皮膚感作性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データなし
誤えん有害性		データなし

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚類		データなし
甲殻類		データなし
藻類		データなし
残留性・分解性		データなし
生物蓄積性(BCF)		データなし
土壤中の移動性		
n-オクタノール・水分配係数		データなし
土壤吸着係数(Koc)		データなし
ヘンリー定数(PaM3/mol)		データなし
オゾン層への有害性		データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制		
国連番号		2746
国連輸送名		クロロギ酸フェニル
国連分類		6.1
副次危険性等級		8
容器等級		II
海洋汚染物質		非該当
国内規制		
陸上規制情報		道路法の規制に従う。
海上規制情報		船舶安全法の規制に従う。
航空規制情報		航空法の規制に従う。
輸送または輸送手段に関する特別な安全対策		道路法、消防法の規定によるイエローカード携行の対象物
その他の注意		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。 重量物を上積みしないこと。
緊急時応急措置指針番号		156

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)
毒物及び劇物取締法 消防法	毒物(法第2条第1項別表第1第28号、指定令第1条) 第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)
水道法 特定有害廃棄物輸出入規制法 航空法 船舶安全法 港則法	水質基準(法第4条第2項、平成15年5月30日省令第101号) 特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号) 毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1) 毒物類・毒物(危規則第3条危険物告示別表第1) その他の危険物・毒物類(毒物)(法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
道路法	通行制限品目(法第46条第3項、施行令第19条の13、平成22年11月18日(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
外国為替及び外国貿易法	輸出許可貨物・補完品目(キャッチオール規制)(法第48条第1項、輸出令第1条別表第1の16の項) 輸出承認貨物・特定有害廃棄物等(法第48条第3項、輸出令第2条別表第2の35の2の項)

16. その他の情報

主な参考文献

安全データシート "クロロ炭酸フェニルエステル", 職場の安全サイト
2013/02/22 改訂版
独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版(2024/04/05 アクセス)
webデータベース "ezCRIC+"(2024/04/05 アクセス)
ウェブサイト "PubChem"(2024/04/05 アクセス)
安全データシート "Phenyl Chloroformate", 東京化成工業株式会社
2024/03/14 改訂版

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2024年 4月 5日 作成